

## II 教育行財政



## 1 教育委員会の構成



高橋 勝 教育長



鈴木 勝 委員  
(教育長職務代理者)



福成 菜穂子委員



花輪 妙子 委員

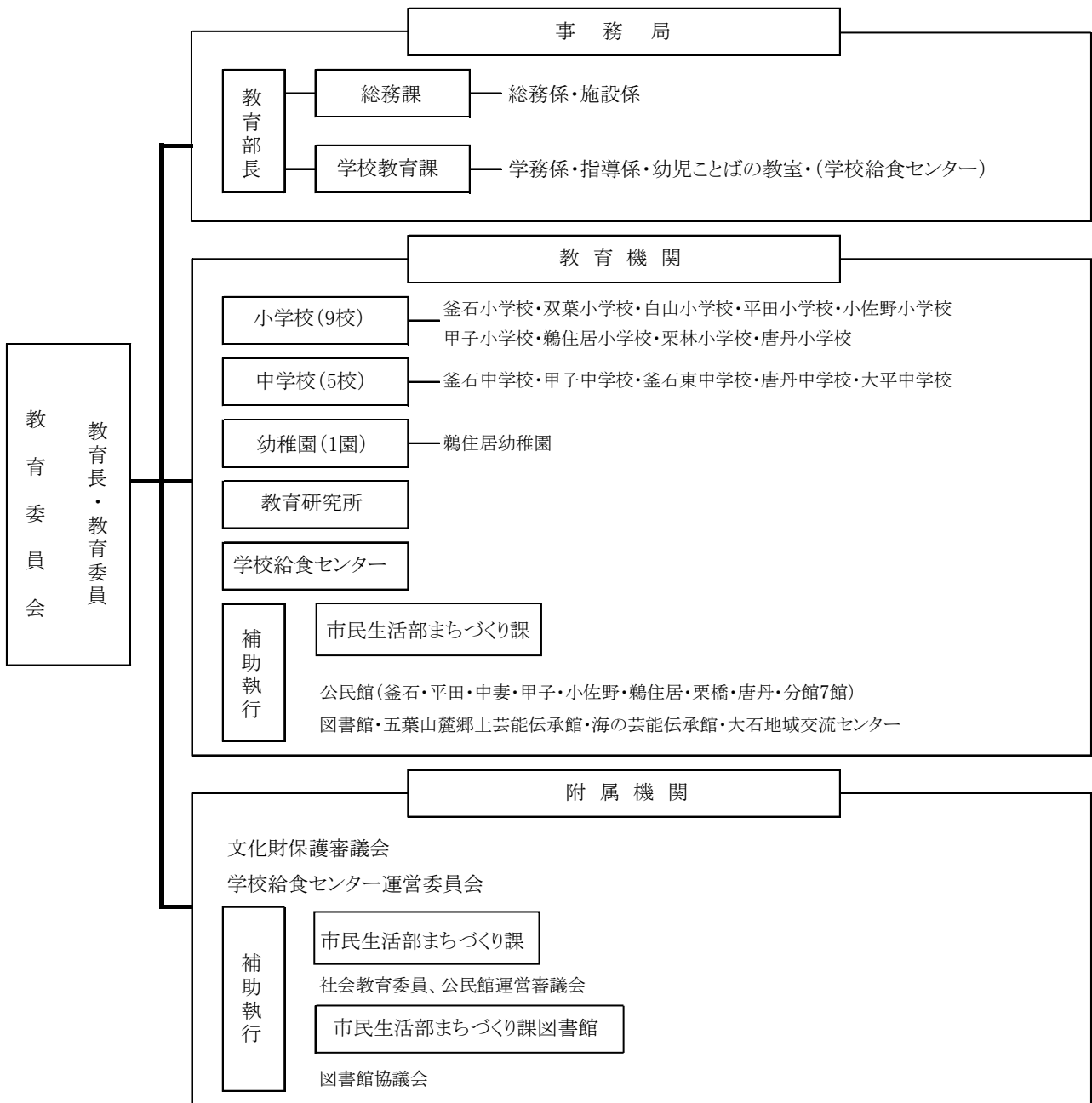


佐野 茂樹 委員

(令和3年10月1日現在)

職 名	氏 名	任 期	就任年月日
教 育 長	高 橋 勝	令和2年4月1日～令和4年9月30日	令和2年4月 1 日
委 員 (教育長職務代理者)	鈴 木 勝	平成30年10月 1 日～令和4年9月30日	平成26年10月 1 日
委 員	福 成 菜穂子	令和元年10月 1 日～令和5年9月30日	令和元年10月 1 日
委 員	花 輪 妙 子	令和2年10月1日～令和6年9月30日	令和2年10月 1 日
委 員	佐 野 茂 樹	令和3年10月1日～令和7年9月30日	令和3年10月 1 日

## 2 教育委員会機構図（令和3年4月1日現在）



※ 教育委員会の事務の補助執行を行う市長部局の関係課

市民生活部まちづくり課 — 生涯学習係、図書館

文化スポーツ部文化振興課 — 文化財係

文化スポーツ部世界遺産課 — 世界遺産係、管理係

### 3 教育委員会職員数（令和3年4月1日現在）

#### (1) 教育委員会事務局・教育機関等（学校以外）

区分	教育長	定数内職員											定数外職員		合計			
		部長	課長職		補佐管理職			課長補佐	係長	指導主事	主査	主任・主事等	用務員	計		駐在・派遣	会計年度任用職員	計
			課長	館長・所長	主幹	所長	館長											
教育長	1												1			0	1	
教育部長		1											1			0	1	
総務課			1				2	1					4			0	7	
総務係								(1)			1		1		1	1		
施設係								(1)				1	1			0		
学校教育課			1		1								2		5	5	15	
学務係								(1)			4		4			0		
指導係									1		1		2	2		2		
教育研究所	(1)		(1)							(1)			(3)	(2)	(2)	(4)	(7)	
学校給食センター						1	1				2		4	2		2	6	
幼児ことばの教室								1					1		1	1	2	
合計	1	1	2	0	1	1	0	3	2	1	0	8	1	21	4	7	11	32

注) カッコ数字は兼務職員数

#### (2) 学校（学校教育課）

##### ア 幼稚園

令和3年5月1日現在

	園長	教諭	小計	教育補助員	合計
鵜住居幼稚園	1	2	3	2	5

## イ 小学校

令和3年5月1日現在

	県費支弁職員数											市費支弁職員数			合 計
	校 長	副 校 長	主 幹 教 諭	指 導 教 諭	教 諭	指 導 養 護 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 職 員	小 計	用 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	小 計	
釜石	1	1			9		1		2	1	15	1	2	3	18
双葉	1	1	1		8		1		1	1	14	1	2	3	17
白山	1	1			5		1			1	9	1	1	2	11
平田	1	1			8		1		2	1	14	1	1	2	16
小佐野	1	1	1		15	1	1		5	1	26	2	4	6	32
甲子	1	1			16		1			1	20	2	2	4	24
鶴住居	1	1	1		11		1	1		2	18	1	2	3	21
栗林	1	1			6		1			1	10	1	0	1	11
唐丹	1	1			7		1		1	1	12	1	2	3	15
合計	9	9	3	0	85	1	9	1	11	10	138	11	16	27	165

## ウ 中学校

令和3年5月1日現在

	県費支弁職員数											市費支弁職員数			合 計
	校 長	副 校 長	主 幹 教 諭	指 導 教 諭	教 諭	指 導 養 護 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 職 員	小 計	用 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	小 計	
釜石	1	1	1	1	19		1		1	2	27	2	2	4	31
甲子	1	1			13		1		1	1	18	1	1	2	20
釜石東	1	1			11		1	1	1	1	17	1		1	18
唐丹	1				5				3		9	1		1	10
大平	1	1			8		1		2	1	14	1	1	2	16
合計	5	4	1	1	56		4	1	8	5	85	6	4	10	95

## 4 令和3年度教育行政方針演述（令和3年3月釜石市議会定例会）

令和3年3月釜石市議会定例会の開会にあたり、令和3年度の教育行政方針についてご説明申し上げます。

### はじめに

東日本大震災から間もなく10年が経過します。

教育委員会としましては、この10年間、子どもたちの笑顔と元気ががんばる姿が、生きる希望、復興の灯となることを願い、子どもたちに当たり前の日常生活を取り戻すこと、震災でつらく悲しい思いをした子どもたちの心のケアに努めること、そして、子どもたちが夢と希望を持ち困難に負けず自らの未来をたくましく切り拓き、釜石市の復興と将来のまちづくりを担っていきけるよう「強く生き抜く力」の育成に取り組んでまいりました。

子どもたちは、市民の皆様・地域の皆様に見守られながら、感謝の心を持ち、一步一步、前に進んでまいりました。その歩みが一つの形となって表れたのが、昨年度9月25日に釜石鶴住居復興スタジアムで開催された、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>日本大会岩手・釜石開催フィジー対ウルグアイ戦での市内全小中学生による「ありがとうの手紙」の合唱です。今年度は、釜石市内全小中学生で組織する「かまいし絆会議」の提案により、9月25日を「絆の日」と定め、各小中学校で、「ありがとうの手紙」を合唱したり、あいさつ運動を行ったり、地域のゴミ拾いやお世話になった地域の方々に感謝の手紙を渡すなど、絆を深める取組が行われました。釜石の子どもたちは、優しく、たくましく成長しています。

令和3年度からは、新たに策定された「第六次釜石市総合計画」に基づきまちづくりが行われます。

その初年度となる令和3年度は、この10年間の復興への取組の中で改めて実感した、「子どもたちは未来の希望である」「子どもたちの笑顔を守ることが教育の使命である」という思いを引継ぎながら、「第六次釜石市総合計画」の学校教育分野に掲げている「未来を担う子どもたちの育成」「子どもたちを育む環境づくり」に向け、取り組みのスタートを切る年度といたします。

子どもたちの内には、あふれる生命力があります。未来への夢と希望があります。保護者の皆様、地域の皆様とともに、子どもたちの内なる生命力を育み、可能性を伸ばし、生きることに喜びを感じる子どもたちを育ててまいります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、行事の延期や中止、3つの密を避けた生活などこれまでとは異なる学校生活になりました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症による子どもたちへの様々な影響が懸念されますが、引き続き感染防止に努めながら、コロナ禍の中でも子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるよう、学校教育の一層の充実を図ってまいります。

それでは、令和3年度の施策の大要について申し上げます。

### 学校教育の充実—「強く生き抜く力」の育成—

令和3年度の教育行政の推進に当たっては、これまで取り組んできました知・徳・体の調和のとれた「強く生き抜く力」の育成を継承し、子どもたちが、将来、夢や希望を実現できるよう学校教育の充実を図ってまいります。

当市には、幾多の困難から市民が支え合い立ち上がってきた歴史があります。粘り強く物づくりに取り組んできた伝統があります。そのような歴史と伝統、精神を継承し、思いやりの心とたくましい心を持った、将来を担う「人づくり」に取り組んでまいります。

## 1 家庭・地域と連携・協働した教育活動の推進

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5では、法令に定められた一定の権限を持って、保護者や地域の方々が学校経営に参画する仕組みとして、「学校ごとに学校運営協議会を置くように努めなければならない」と定め、学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼ぶことになっています。コミュニティ・スクールは、現在は努力義務となっていますが、今後、義務化されると言われています。当市でも令和4年度からの「コミュニティ・スクール」の実施を目指し、準備を進めてまいります。

コミュニティ・スクールは、「地域と共にある学校」づくりを行うものです。令和4年度からの実施を目指し、学校評価の活用や学校評議員の意見を学校経営に生かすなど、保護者や地域に信頼される学校づくりに努め、より一層保護者や地域との連携・協働による学校経営を推進してまいります。

## 2 いのちの教育の推進

当市では、「強く生き抜く力」を育成する中心的な取り組みとして、防災教育を核としながら、全ての教育活動を通して子どもたちが、郷土を愛し、自他の命を守るために、主体的に行動することができる力を身に付けることを目指す「いのちの教育」に取り組んでまいりました。

しかしながら、東日本大震災から10年が過ぎようとしている今、震災の記憶があまりない児童・生徒や震災の経験そのものがない児童・生徒がほとんどとなり、震災の教訓から学び、語り継いでいくことが課題となっています。日本海溝・千島海溝沿いの地震による最大クラスの津波発生が想定されていることから、「いのちの教育」のより一層の充実を図り、釜石市防災市民憲章「命を守る」に掲げる「備える」「逃げる」「戻らない」「語り継ぐ」を実践する子どもたちを育ててまいります。

また、近年、各地で多発している洪水・土砂災害に対する防災についても引き続き取り組んでまいります。

## 3 こころのサポートの推進

東日本大震災から10年が過ぎようとしています。保護者の震災体験が子どもに及ぼす影響が懸念されます。震災後毎年実施している「心とからだの健康観察」の結果では、沿岸地区の要サポート率が内陸部より高い数値を示しています。これらのことから、なお東日本大震災による児童・生徒のこころのサポートは欠かせない取り組みであります。

今後も、「心とからだの健康観察」をもとに、一人ひとりの児童・生徒の状況に応じたきめ細かな教育相談と支援のための学校体制の充実を図ってまいります。

また、担任を中心としたチームによる日常的なこころのサポートを充実させるために、各小・中学校へのカウンセラーの派遣、スクールソーシャルワーカーによる支援、教員研修の実施、関係機関との連携強化などを行ってまいります。

## 4 豊かな心の育成

豊かな心の育成につきましては、「思いやりの心」「感謝の心」「奉仕の心」を根幹にすえ、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念、自他を尊重し、協働して社会を形成するために求められるルールやマナー、規範意識などを育ててまいります。そのために、道徳教育を大事にした学校経営を行ってまいります。

また、価値観が多様化する中で、互いの価値観を認め合う態度を養い、互いを思いやる心を育ててまいります。

豊かな心の育成には、感動の積み重ねが大事です。授業はもとより、地場産業の体験活動、郷土芸能の伝承活動、地域での奉仕活動、鉄の学習など様々な体験活動を通して、子どもたちが、



人とふれあい、感動を味わい、豊かな感性を育みながら、自分の生き方を考える機会となるよう、体験活動の充実を図ってまいります。

## 5 確かな学力の育成

確かな学力の育成につきましては、「読み・書き・計算」の力を土台として、すべての児童・生徒が、生涯を通じ主体的に学び続けるために必要な「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力」などの資質・能力を身につけることができるよう、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを行ってまいります。そして、児童・生徒が、自ら伸びようとする心を育ててまいります。

そのためには、教職員の優れた指導力が必須です。校内外の研修内容の一層の充実を図るとともに、市研究指定校による研究成果の市内小中学校への普及など、教職員の指導力の向上を図ってまいります。

また、ICTを活用した教育の推進により、児童・生徒の学習への理解と学びへの意欲を高めてまいります。

## 6 健やかな体の育成

健やかな体の育成につきましては、「強く生き抜く力」の重要な要素の一つであることから、児童・生徒の体力の向上及び生涯にわたって健康の保持・増進を図るため、諸調査などの結果を踏まえ、体育における指導方法や指導内容の工夫・改善と健康教育を推進してまいります。

また、「ラグビーのまち釜石」の取組のひとつとして、小学校を中心にタグラグビーに親しみ、スポーツの楽しさを味わうことで、運動への興味・関心を高めてまいります。併せて、ラグビーワールドカップのレガシーや東京オリンピック・パラリンピック開催によるスポーツへの興味・関心の高まりを生かし、休み時間や放課後、帰宅後や休日にも積極的に体を動かすよう児童・生徒に働きかけ、運動の日常化を図ってまいります。

健康面では、新型コロナウイルス感染症への感染が懸念されますが、主体的に感染予防に取り組む態度を養い、将来にわたって健康の保持・増進に努める意識を高めてまいります。

## 7 特別支援教育の充実

特別支援教育につきましては、様々な障がいに伴う、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援・指導を行うため、個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成・活用し、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援・指導を行ってまいります。支援・指導に当たっては、きめ細やかな実態把握と共通理解に基づく支援・指導を行うとともに、校種間の連携や関係機関との連携を図りながら進めてまいります。

また、地域・保護者へのインクルーシブ教育の理解を図り、「共に学び、共に育つ教育」を推進してまいります。

特別支援教育の充実を図るために、小・中学校に引き続き特別支援教育支援員を配置してまいります。

## 8 生徒指導の充実

生徒指導の充実につきましては、全ての教師が児童・生徒一人ひとりの発達段階や生活環境などを踏まえ、深い愛情をもって児童・生徒理解に努めるとともに、児童・生徒が互いの良さを認め合える人間関係をつくること、成就感を味わうこと、自分には良いところがあるという自己肯定感を高めること、人の役に立つという経験を通して自己有用感を育てることなどを大事にしながら、教育活動全体を通じて、自己指導力の育成を図ってまいります。

いじめや不登校などの諸問題に対応するため、保護者や地域、関係機関と連携しながら、情報

の共有や教育相談の充実などの校内体制の整備を行うとともに、校長のリーダーシップのもと生徒が発するSOSを見逃さず受け止めることができる学校組織とし、問題の予防、早期発見、早期対応に努めてまいります。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣、教育相談員による相談対応など学校や保護者、児童・生徒への支援を行ってまいります。

いじめ問題につきましては、「釜石市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止の取組を推進してまいります。特に、人権意識や思いやりの心を育む中で、いじめの防止に努めてまいります。

釜石市内小中学生は、自分たちの学校生活をよりよいものにすることと、釜石市のまちづくりや地域に貢献することを目的に、「かまいし絆会議」を組織し、活動しています。この取組の中で、主体性や実践力を養い、物事に積極的に取り組む児童・生徒を育ててまいります。

## 9 幼保小の連携及び小・中連携の充実

幼保小の連携につきましては、早期からの就学支援の充実を図るとともに、接続カリキュラムとスタートカリキュラムの活用による子どもの発達や学びの連続性に考慮した取組を通じて、一層の連携を行ってまいります。

小・中学校の連携につきましては、各中学校区内の小・中学校が、目指すべき児童・生徒像を共有し、教職員間の連携・協働のもと、計画的・系統的な取組・活動を行うことで、義務教育9年間における学びの連続性を図りながら、「強く生き抜く力」の育成に努めてまいります。

## 10 キャリア教育の推進

キャリア教育につきましては、今年度から、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、児童・生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を記録し、自己評価できるキャリア・パスポートを作成し、活用することになっています。このキャリア・パスポートの作成・活用を通じて、キャリア教育を推進してまいります。

## 11 社会の変化に対応した教育の推進

ICT教育の推進につきましては、GIGAスクール構想により児童・生徒に一人一台配備されたタブレットの学びへの活用を推進してまいります。そのために、教職員の研修、各校での積極的な活用の推進に努めてまいります。また、オンライン学習への活用について検討してまいります。併せて、児童・生徒への情報モラル教育や健康面への留意事項なども指導してまいります。

国際理解教育につきましては、昨年度のラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>日本大会岩手・釜石開催や東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業でのオーストラリアとの交流活動など、児童・生徒が世界に目を向け、世界に関心を持つことにつながりました。

今後も、様々な機会をとらえて、児童・生徒が世界に目を向け、他国の人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、グローバルな視点を持った児童・生徒を育成してまいります。そのために、英語の授業や外国語活動の時間での言語や文化の理解をはじめ、インターネットを通じた他国の児童・生徒との交流などを行ってまいります。

## 12 教職員が子どもに向き合う時間の確保

学校教育を充実させるには、指導にあたる教職員が健康で元気に働くことができ、教職員が子どもに向き合う時間を確保することが重要です。そのために、教職員の勤務実態について把握するとともに、校務支援システムを活用した校務の効率化を図ることにより、教職員が子どもに向き合う時間の確保に努めてまいります。

### 13 学校給食の充実

学校給食につきましては、新たな施設が完成し、今年度から運用を開始いたしました。2学期からは、アレルギー食への対応も行っております。

学校給食の実施にあたりましては、委託業者への指導も含め、より一層衛生管理を徹底してまいります。また、安全安心な食材の確保と地元農水産物の利用による釜石の農業や水産業への理解を図りながら、安全安心な学校給食の提供に努めてまいります。

子どもたちの「強く生き抜く力」の育成のためには、「食」が重要な役割を担っております。学校給食を活用した食育の推進など給食センターがその拠点としての役割を果たせるよう取り組んでまいります。

### 14 学校施設の整備

学校施設の整備につきましては、中長期的な維持管理などに係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図りながら、児童・生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう、施設や設備などの適切な維持管理に努めてまいります。学校施設が、災害などの避難施設としての役割を担っている面からも、計画的に設備の整備を図る必要があります。

今後の望ましい教育環境を確保するという観点からの市内の小中学校の適正規模・適正配置などの検討については、学校関係者、保護者代表、民間の方々を委員とした「釜石市学校規模適正化検討委員会」を開催し、協議を進めてまいります。

### おわりに

以上、令和3年度の施策の大要について、述べました。

教育委員会といたしましては、新たに策定された「第六次釜石市総合計画」に基づき、未来を担う子どもたちを育むよう、教育振興施策に取り組んでまいります。

一層のグローバル化、情報化が進む変化の激しい社会にあって、変化に対応できる力を身につけていくことは大事なことです。最も大切に育んでいかなければならないことは、「心の豊かさ」であり、「心のたくましさ」です。釜石の子どもたちが、「心の豊かさ」と「心のたくましさ」を持って、将来、社会の中で生き生きと過ごせるよう学校教育を推進してまいります。

今後とも、議員各位と市民の皆様の深いご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。教育行政方針といたします。

## 5 教育財政

### (1) 一般会計予算額と教育費の推移

(単位：千円、%)

年度	当初予算額			決算額		
	一般会計	教育費	比率	一般会計	教育費	比率
平成21	16,550,000	1,335,594	8.1	17,919,417	1,597,741	8.9
平成22	16,242,000	1,419,841	8.7	16,982,792	1,420,563	8.4
平成23	17,200,000	1,605,623	9.3	47,655,343	1,422,894	3.0
平成24	38,290,000	1,405,378	3.7	108,314,610	2,067,698	1.9
平成25	85,455,000	1,435,289	1.7	75,635,534	1,367,574	1.8
平成26	108,000,000	2,200,064	2.0	80,339,616	1,998,525	2.5
平成27	103,126,000	2,074,115	2.0	69,665,425	2,299,924	3.3
平成28	75,754,000	2,740,204	3.6	72,040,829	1,944,832	2.7
平成29	64,585,000	3,052,176	4.0	67,107,773	3,415,591	5.1
平成30	50,320,000	2,491,416	5.0	53,678,390	3,069,075	5.7
令和元年	44,757,000	4,087,898	9.1	53,346,455	4,529,628	8.5
令和2年	27,987,000	1,906,243	6.8	41,305,337	1,878,227	4.5
令和3年	20,487,000	1,702,742	8.3	-	-	-

### (2) 教育費予算構成の累年比較

(単位：千円)

年度	教育費総額	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費
平成20	1,335,499	226,421	186,755	117,510	174,949	254,735	375,129
平成21	1,335,594	231,897	194,242	103,116	175,489	253,559	377,291
平成22	1,419,841	252,504	253,076	117,802	160,584	271,597	364,278
平成23	1,605,623	233,272	381,189	114,009	160,868	286,017	430,268
平成24	1,405,378	199,682	182,348	131,499	186,197	211,846	493,806
平成25	1,435,289	201,577	247,618	145,457	129,713	202,159	508,765
平成26	2,200,064	203,740	661,417	150,164	402,060	246,915	535,768
平成27	2,074,115	241,915	296,998	198,431	180,490	355,922	800,359
平成28	2,740,204	246,763	190,912	155,954	71,593	240,696	1,834,286
平成29	3,052,176	262,299	419,749	140,420	71,869	400,765	1,757,074
平成30	2,491,416	263,700	213,431	163,891	62,744	435,480	1,352,170
令和元年	4,087,898	241,360	244,402	151,039	26,440	377,084	3,047,573
令和2年	1,906,243	314,704	341,657	170,365	13,467	366,869	699,181
令和3年	1,702,742	348,558	226,365	134,323	23,383	320,648	649,465

### (3) 令和3年度の主な事業

#### ア 当初予算

##### ◆ かまいし絆会議運営事業 500千円

釜石の未来を担う市内の児童生徒が、自分たちの学校や地域の生活をよりよくするために何ができるかを考え、将来の釜石市をつくるリーダーとなれる力を身に付けていくため、かまいし絆会議として様々な活動を行うものです。

《事業内容》

- 各学校消耗品購入費、会場等使用料

##### ◆ 特別支援教育支援員配置事業 42,994千円

LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥・多動性障がい）、高機能自閉症等や身体的な障がいをもつ児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う特別支援教育支援員を小中学校へ配置して障がいによる困難を克服するための教育を充実しようとするものです。

《事業内容》

- 配置人員 19人

##### ◆ かまいしコミュニティスクール推進事業 2,100千円

釜石市の鉄の歴史や風土、伝統、有形無形の財産を活用して郷土理解を深めるとともに、郷土の誇りや愛着を育てるための活動、地域の人材の活用をはじめとする学校の自主的な活動に対して助成するものです。

《事業内容》

- 交付額 1校あたり150千円（小学校9校、中学校5校）

##### ◆ こころのケア事業 3,469千円

東日本大震災に起因するストレスによって自分自身や周囲も気付きにくい心身の細やかな変化が現れており適切な対処が必要なことから、ストレス障害などを早期に把握するなどきめ細かなケアを継続的に行うためスクールソーシャルワーカーを配置するものです。

《事業内容》

- 配置人員 1人

##### ◆ 教育用コンピュータ等整備事業 35,491千円

小中学校で使用している教育用パソコン及び周辺機器などのICT環境を整備することによって情報化教育を推進しようとするものです。

《事業内容》

- 教育用PC、サーバ等賃借料
- 校務用PC及び統合型校務支援システム賃借料
- ウイルス対策セキュリティソフトライセンス料

##### ◆ ICT支援員配置事業 2,953千円

急速に進む学校のICT化により環境が大きく変わる学校現場の負担を軽減し、ICT環境が児童生徒の学びのためにより有効に活用されるよう、日常的な教員のICT活用を支援するICT支援員を配置するものです。

《事業内容》

- ICT支援員業務委託

- 配置人数 2人
- 業務内容
  - ・ I C T機器を活用した授業等の支援
  - ・ 教員を対象とした研修の実施
  - ・ I C T活用に係る学校からの問い合わせや相談への対応

◆ **学校生活管理指導票作成料補助事業【新規】**      **130千円**

児童生徒のアレルギー疾患に対応するため、年に一度保護者に提出を求めている「学校生活管理指導票」の作成料は、保護者負担となっているが、特に、経済的負担の大きい要保護・準要保護世帯及び特別支援教育就学奨励費支給世帯に対して作成料の補助を行うものです。

《事業内容》

- 対象人数 40人

(教育費・10款1項3目／学校教育課)

◆ **学校空調整備事業（小学校費）**      **3,377千円**

令和3年度において、唐丹小学校の普通教室数が増える見込みであることから、夏季の熱中症対策として空調設備を増設するものです。

《事業内容》

- 唐丹小学校空調整備工事

(教育費・10款2項1目／教育委員会総務課)

◆ **I C T活用教育推進事業（小学校費）**      **17,822千円**

G I G Aスクール構想の推進により、学習指導要領の示すねらいを達成し、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できるよう、I C T活用教育の環境を全校に整えるものです。

《事業内容》

- I C T機器及び学習用ソフトウェア賃借料
- 教員用タブレットPC 110台
- 児童用タブレットPC 1,286台
- ほか、電子黒板、アクセスポイント、プログラミング教材等

(教育費・10款2項2目／学校教育課)

◆ **旧小佐野中学校解体事業**      **5,000千円**

既に閉校している旧小佐野中学校校舎について、小川地区及び小佐野地区のまちづくりを促進するため、解体に係る設計業務を行うものです。

《事業内容》

- 旧小佐野中学校解体設計業務委託

◆ **学校環境整備事業（中学校費）**      **3,000千円**

教育環境の向上のために必要な施設等の整備を進めるものです。

《事業内容》

- 釜石中学校校舎・屋内運動場雨漏り対策修繕 など

(教育費・10款3項1目／教育委員会総務課)

◆ **ICT活用教育推進事業（中学校費）** 12,364千円

GIGAスクール構想の推進により、学習指導要領の示すねらいを達成し、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できるよう、ICT活用教育の環境を全校に整えるものです。

《事業内容》

- ICT機器及び学習用ソフトウェア賃借料
- 教員用タブレットPC 84台
- 生徒用タブレットPC 662台
- ほか、電子黒板、アクセスポイント、プログラミング教材等

（教育費・10款3項2目／学校教育課）

◆ **放課後子ども教室推進事業** 3,110千円

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、地域のボランティアが子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動、住民との交流活動を実施することで、安全・安心な居場所づくりを行うものです。

《事業内容》

- 実施場所 公民館、学校内施設、復興公営住宅集会室、集会所等  
6教室（7小学校区）

◆ **地域学校協働活動体制推進事業** 4,504千円

地域と学校が連携、協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域と学校の連絡調整等を行う地域コーディネーターの配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うものです。

《事業内容》

- 地域学校協働本部設置校 釜石小学校、栗林小学校、鶴住居小学校、甲子小学校、  
白山小学校

（教育費・10款6項1目／まちづくり課）

◆ **埋蔵文化財保存事業** 11,752千円

埋蔵文化財の保護を目的として遺跡詳細分布調査を行うとともに、個人住宅の建設事業や各種開発事業に伴う試掘確認調査を実施するものです。

《事業内容》

- 個人住宅の建設事業や各種開発事業に伴う試掘確認調査
- 縄文時代前期の遺跡の詳細分布調査

◆ **歴史はっけん事業** 4,000千円

市内に埋もれた歴史や文化財を発見または再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、広くまちづくりに活用し、最終的に歴史・文化財に関する釜石市文化財保存活用地域計画の策定を目指そうとするものです。

《事業内容》

- 釜石市文化財保存活用地域計画協議会の開催
- 市内文化財の調査や講演会の開催

◆ **屋形貝塚保存活用事業** 11,975千円

屋形遺跡は、貝塚を伴う縄文時代の集落跡であり、縄文時代の生活を解明していく上で重要な遺跡であることから、保存・活用しようとするものです。

《事業内容》

- 釜石市屋形遺跡調査指導委員会の開催（2回）
- 保存・活用のための内容確認調査

◆ **釜石市郷土芸能祭開催事業** 1,393千円

市内に伝わる郷土芸能について、広く市民に周知を図るとともに、伝承活動に携わっている団体に活動発表の機会を提供することにより、郷土芸能の次世代への確実な伝承と継承者を育成しようとするものです。

《事業内容》

- 開催時期 令和4年2月（予定）
- 開催場所 釜石市民ホール

（教育費・10款6項5目／文化振興課）

◆ **橋野高炉跡整備事業** 41,876千円

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、採掘場跡及び運搬路跡も含めた史跡整備を行うものです。

《事業内容》

- 会計年度任用職員経費 3,733千円
- 史跡整備検討委員会の開催（2回） 164千円
- 範囲内容確認調査委託（遺跡測量、出土遺物の保存処理・整理、自然科学分析） 29,710千円
- 橋野高炉跡整備事業委託（石垣微動調査） 7,100千円
- その他経費 1,169千円

（教育費・10款6項5目／世界遺産課）

イ **6月補正予算**

◆ **防災教育・復興教育推進事業** 1,207千円

岩手県教育委員会による「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するものです。

《事業内容》

- 震災学習列車活用スクール 釜石中学校
- いわての復興教育スクール 釜石中学校
- 交流学习スクール 唐丹中学校

（教育費・10款1項3目／学校教育課）

◆ **小学校感染症対策・学習保障等支援事業（コロナ）** 7,600千円

各小学校の児童の学習を保障するため、感染症対策を進めるものです。

《事業内容》

- 感染症対策のための消耗品・備品等の購入



- 上限額 児童数 1人～300人 1校当たり 800千円  
301人～500人 1校当たり 1,200千円

(教育費・10 款2項2目／学校教育課)

◆ **中学校感染症対策・学習保障等支援事業（コロナ） 4,400千円**

各中学校の生徒の学習を保障するため、感染症対策を進めるものです。

《事業内容》

- 感染症対策のための消耗品・備品等の購入
- 上限額 生徒数 1人～300人 1校当たり 800千円  
301人～500人 1校当たり 1,200千円

(教育費・10 款3項2目／学校教育課)

ウ **9月補正予算**

◆ **教材備品等管理費 2,637千円**

(株)NTTドコモの災害復興等応援社員募金による寄附金を活用し、市内小学校の教材備品を購入するものです。

《事業内容》

- 双葉小学校 グランドピアノ購入

(教育費・10款2項2目／学校教育課)

## 6 教育委員会附属・関連機関

### (1) 釜石市文化財保護審議会

(任 期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年4月1日現在

番号	職 名	氏 名	所属部会	委嘱開始年月
1	会長	川 原 清 文		平成18年5月1日
2	副会長	久 保 知 久		平成16年6月1日
3	委員	松 本 武	第1専門部会 会長	平成15年4月1日
4	委員	山 崎 倫 昭	第1専門部会 副会長	平成24年1月1日
5	委員	千 葉 愛 子	第1専門部会	令和2年4月1日
6	委員	市 川 淳 子	第1専門部会	令和2年4月1日
7	委員	瀬 戸 元	第2専門部会 会長	平成21年5月1日
8	委員	藤 井 サエ子	第2専門部会 副会長	平成21年5月1日
9	委員	河 東 直 江	第2専門部会	平成24年1月1日
10	委員	鱒 沢 トモ子	第2専門部会	令和2年4月1日
11	委員	佐々木 光 壽	第3専門部会 会長	平成17年4月1日
12	委員	藤 原 信 孝	第3専門部会 副会長	平成24年1月1日
13	委員	加 藤 良 司	第3専門部会	平成28年1月1日
14	委員	千 葉 まき子	第3専門部会	令和2年4月1日

### (2) 釜石市学校給食センター運営委員会

(任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日)

令和3年7月1日現在

役職	氏 名	所 属	最初の委嘱年月	選出区分
	及 川 美香子	双葉小学校校長	令和3年7月	小学校の校長
委員長	鈴 木 崇	平田小学校校長	令和2年7月	小学校の校長
	堀 村 克 利	鵜住居小学校校長	令和3年7月	小学校の校長
副委員長	柏 舘 秀 一	甲子中学校校長	令和3年7月	中学校の校長
	蛸 島 茂 雄	大平中学校校長	令和3年7月	中学校の校長
	高 橋 佳 暉	釜石保健所環境衛生課	令和3年7月	保健所職員
副委員長	金 野 宏 美	釜石薬剤師会	平成19年7月	学識経験者
	小笠原 慎 二	栗林小PTA会長	令和3年7月	小学校のPTA会長
	鈴 木 繁	唐丹小PTA会長	令和3年7月	小学校のPTA会長
	齋 藤 健	釜石中PTA会長	令和元年7月	中学校のPTA会長
	須 藤 寛 人	甲子小PTA会長	平成30年7月	小学校のPTA会長
	内 舘 菜穂子	釜石小学校養護教諭	令和3年7月	その他教育長が指名する者
	小 澤 喜久子	小佐野小学校指導養護教諭	令和元年7月	その他教育長が指名する者
	佐々木 恵	白山小学校養護教諭	令和元年7月	その他教育長が指名する者
	藤井 津佳子	釜石東中学校養護教諭	令和3年7月	その他教育長が指名する者

	柏 崎 り え	釜石祥雲支援学校校長	令和3年7月	その他教育長が指名する者
--	---------	------------	--------	--------------

**(3) 釜石市社会教育委員**

(任期：令和2年1月1日～令和3年12月31日)

令和3年5月1日現在

	氏 名	職 業 ・ 団 体 等	最初の委嘱年月日	種別
1	及 川 靖 浩	釜石小学校校長	令和3年5月1日	学校
2	柏 館 秀 一	甲子中学校校長	令和3年5月1日	学校
3	鈴 木 広 樹	岩手県立釜石高等学校校長	令和元年5月1日	学校
4	山 口 邦 子	釜石商工会議所女性会副会長	平成28年1月1日	社会
5	齋 藤 健	釜石市PTA連合会会長	令和2年7月1日	家庭
6	石 垣 邦 子	釜石市芸術文化協会副会長	平成30年1月1日	社会
7	猪 又 信 幸	(社)釜石青年会議所理事長	令和2年1月1日	社会
8	三 浦 幸 江	釜石市PTA連合会母親委員	令和2年1月1日	家庭
9	吉 田 千 秋	釜石市スポーツ推進委員協議会会長	平成24年1月1日	社会
10	柴 田 渥	かまいし女性フォーラム'21代表・主婦	平成8年5月1日	家庭
11	吉 岡 真 美	放課後子ども教室協働活動サポーター	令和元年5月1日	家庭
12	菊 池 亮	釜石市社会福祉協議会	平成30年1月1日	学識

**(4) 釜石市立公民館運営審議会**

任期：令和2年1月1日～令和3年12月31日 釜石・甲子・小佐野・鵜住居・栗橋・唐丹

任期：令和2年5月1日～令和4年4月30日 平田

任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日 中妻

令和3年5月1日現在

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
釜石公民館	及 川 靖 浩	釜石小学校校長	令和2年4月1日	学
	蛸 島 茂 雄	大平中学校校長	令和3年5月1日	学
	柏 木 成一郎	(前)小佐野小学校副校長	平成30年5月1日	社
	柳 田 三枝子	民生児童委員	平成13年5月1日	社
	山 崎 義 勝	大只越町内会事務局長	平成30年5月1日	社
	合 澤 洋 子	民生児童委員	令和元年5月1日	社
	横 山 幸 雄	前老人クラブ連合会事務局長	平成19年5月1日	社

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
平田公民館	鈴 木 崇	平田小学校校長	令和2年5月1日	学
	佐 藤 雅 彦	平田町内会会長	令和2年5月1日	社
	鈴 木 房 子	あすなろキャラバン代表	平成24年1月1日	社
	浅 田 俊 子	釜石湾漁業協同組合平田女性部部长	平成30年5月1日	社家
	佐々木 淳 子	釜石湾漁業協同組合白浜浦女性部部长	平成30年5月1日	社家

	福 田 博	民生児童委員（主任児童委員）	平成30年5月1日	社
	小 松 美 香	平田こども園園長	令和2年5月1日	学

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
中妻公民館	及 川 美香子	双葉小学校校長	令和3年5月1日	学
	八 幡 雅 子	中妻子供の家保育園園長	平成30年6月1日	家
	村 上 雄 子	ニチニチソウ代表	平成27年5月1日	社
	佐々木 ひろ子	民生児童委員（主任児童委員）	平成27年5月1日	社家
	佐 藤 力	中妻地区地域会議議長	令和2年8月1日	社
	万城目 千佳代	民生児童委員	令和2年8月1日	社
	小田中 彰 次	上中島Ⅱ期復興公営住宅自治会	令和3年5月1日	社

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
甲子公民館	菊 池 一 章	甲子小学校校長	令和3年5月1日	学
	柏 舘 秀 一	甲子中学校校長	令和2年5月1日	学
	安久津 吉 延	甲子地域会議顧問	平成9年5月1日	社
	松 田 真 帆	放課後子ども教室協働活動サポーター	平成30年1月1日	家
	坂 本 慶 子	甲子歌う会代表	平成22年12月1日	社
	鈴 木 みどり	民生児童委員（主任児童委員）	平成19年5月1日	家
	村 上 幸三郎	大畑町内会事務局長	令和2年1月1日	社

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
小佐野公民館	千 葉 裕 之	小佐野小学校校長	令和2年5月1日	学
	佐々木 猛	釜石中学校校長	令和元年5月1日	学
	長谷川 こう子	民生児童委員（主任児童委員）	平成28年1月1日	社
	木 谷 眞知子	主婦	平成19年8月1日	家
	黒 田 至	小佐野地域会議議長	平成28年5月1日	社
	松 坂 喜 史	小川町内会会長	令和2年1月1日	社
	吉 田 千 秋	釜石市スポーツ推進委員協議会会長	令和2年1月1日	社

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
鵜住居公民館	堀 村 克 利	鵜住居小学校校長	令和2年5月1日	学
	米 慎 司	釜石東中学校校長	令和元年5月1日	学
	小 山 士	鵜住居町内会	平成24年1月1日	社
	瀬 戸 保 子	主婦	平成26年8月1日	家

民 館	三 浦 紘 子	釜石東部漁業協同組合箱崎女性部長	平成12年5月1日	社家
	澤 本 和 子	主婦	平成25年1月1日	社
	柏 崎 未 来	(一社) 三陸ひとつなぎ自然学校	平成31年4月1日	社

栗 橋 公 民 館	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
	舞 良 昌 孝	栗林小学校校長	令和2年5月1日	学
	遠 野 健 一	前栗林共栄会会長	平成19年5月1日	社
	菊 池 紫登美	民生児童委員	平成30年1月1日	社家
	小笠原 幸 雄	元栗橋公民館長	平成19年5月1日	社
	藤 原 成 子	主婦	平成30年1月1日	家
	八 幡 裕 子	能舟木町内会会長	令和2年1月1日	社
	遠 藤 朱 実	美容師(自営業)	令和2年1月1日	社

唐 丹 公 民 館	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
	柏 崎 裕 之	唐丹小学校校長	令和3年5月1日	学
	八 木 稔 和	唐丹中学校校長	令和3年5月1日	学
	木 村 京 子	民生児童委員	令和元年5月1日	社
	川 原 清 文	市文化財保護審議会委員	平成19年5月1日	社
	河 東 智 子	民生児童委員(主任児童委員)	平成25年1月1日	社
	上 村 年 恵	保護司	平成19年5月1日	家
	佐久間 定 樹	唐丹小学校PTA会長	令和2年1月1日	家

※種別：学＝学校教育関係者、社＝社会教育関係者、家＝家庭教育の向上に資する者、識＝学識経験者

#### (5) 釜石市立図書館協議会

(任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日)

令和3年5月1日現在

役職名	氏 名	委嘱時期	選出区分
委員長	野 田 摩理子	平成19年5月	学校教育関係者
副委員長	藤 原 由香里	平成27年5月	社会教育関係者
	柴 田 渥	平成29年5月	社会教育関係者
	佐 藤 悦 男	平成30年5月	社会教育関係者
	万城目 千佳代	平成30年5月	社会教育関係者
	足 立 佐智子	令和元年5月	家庭教育関係者
	村 上 修	令和3年5月	学識経験者
	市 川 淳 子	令和3年5月	社会教育関係者
	菊 池 一 章	令和3年5月	学校教育関係者

